

特集

元気でたくましい大

今回の特集は、小・中学生の体力にスポットを当てます。
体力低下が子どもたちに与える影響をご存じでしょうか。
子どもたちの将来のために、しっかりとした体力を身に付けさせましょう。

現状 親の時代に比べ、体力は明らかに低下！

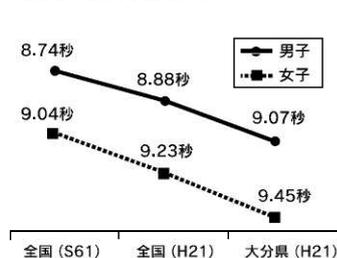
◆全国的な傾向 (2009年度)

- ここ2年間、向上のきざしを見せている。
- 体力水準が最も高かった昭和60年頃に比べると、まだ低水準にある。

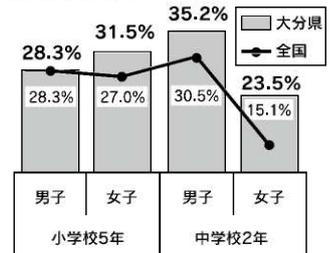
◆大分県の場合 (2009年度)

- ここ10年間で、最も高い数値を出している。
- しかし、大半の調査項目で全国平均を下回っている。
- 小学生、中学生ともに低体力層の割合が高い。

50m走 (小学校6年生)



低体力層の分布



警告 体力低下で、子どもの体に異変が！

◆自分の体をうまくコントロールできない…？

- 転んでも手が出ない、スキップができない、線の上をまっすぐ歩けない等 (中央教育審議会答申 (H14.9.30)「子どもの体力向上のための総合的な方策について」より)

◆子どもの骨折が20年前の約1.7倍に増加…！

- 栄養の偏りや運動不足、幼児期における様々な動きの未習得が原因との指摘 (日本体育・学校健康センター1999年度調査結果より)

◆子どもの1日の歩数が年々減少…！

- 1日の歩数が2万7千歩 (S40年代) から1万歩に減少 (山梨大学中村准教授調査 (1999年) より)

◆肥満の子どもの25年間で約2倍に増加…！

- 糖尿病や高血圧など、生活習慣病を抱える小学生が増加 (文部科学省「学校保健統計調査報告書」(2003年度) より)



注目 体力と学力との間には相関関係も？

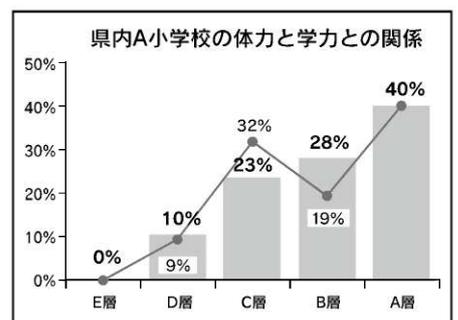
体力は、生活習慣と相関関係があることが明らかになっています。
(文部科学省「全国体力・運動能力・運動習慣等調査」結果)

また、生活習慣は学力との相関関係があることも示されています。
(文部科学省「全国学力・学習状況調査」結果)

基本的な生活習慣の確立が体力にも学力にも大きな影響を与えています。

	体力上位県は学力も上位			
	体力		学力	
	小学校5年生	中学校2年生	小学校6年生	中学校3年生
福井県	1位	1位	2位	1位
秋田県	2位	4位	1位	2位

(平成21年度文部科学省全国調査より)



○折れ線グラフは体力テスト結果を示しています。
A層(上位)～E層(下位)各層の児童の割合を示します
○棒グラフは市の学力テストの結果を示しています。
目標値をクリアした児童の各層での割合を示します